

令和6年調布市公民館運営審議会第4回定例会書面開催における質疑等について

	使用状況報告に対する質問	事務局の回答
質疑／ 稲留委員	<p>公民館使用状況報告で6月・7月共に、西部公民館の団体種類別の音楽・芸能団体と体育団体の利用が他公民館と比べかなり多い利用人数となっています。その理由・背景等がわかれば、お教え頂きたいと思えます。</p>	<p>西部公民館の施設として、防音設備を有している学習室（第一学習室）があることから、音楽・芸能団体及び体育団体の利用も可能なため、サークル活動の拠点として、多くの登録団体が活動していることが一つの理由であると考えております。（音楽系：11団体、運動系：5団体）</p> <p>また、前年度比として、該当の団体種類別の6月・7月の利用人数は、増加しております。（6月：75人程度、7月：100人程度）</p> <p>この理由としては、コロナ禍で中止になっていた大会や発表会等が復活したことにより、その練習等のため利用回数が多くなった団体が複数あったことが一因と考えております。</p>
	審議事項に対する意見等	事務局の回答
質疑／ 安部委員長	<p>よみきかせサークルの主たる活動場所として読み聞かせをする場所が、上ノ原学童クラブのようですが、他に公民館登録団体でそのような団体の例を各公民館であるのでしょうか？</p> <p>地域文化祭には参加するようですが、他に公民館で行う活動はどのようなものがあるのでしょうか。</p> <p>このような団体事例がでてくると、例えば、ゴミ拾いを地域ですべて公開講座や地域文化祭で発表する団体でもよい、ということにはなりませんか？</p>	<p>公民館の登録団体で主たる活動場所を公民館以外としている団体はありません。今回申請したよみきかせサークルは、「北部公民館の学習室で会員同士によるよみきかせの練習を行うとともに実践の場として上ノ原学童クラブに絵本のよみきかせを毎月第4火曜日に実施」し、主たる活動場所は北部公民館となっています。</p> <p>また、よみきかせサークルの公民館での令和6年度の活動の一例は、6月26日(水)から7月21日(日)まで、絵手紙、折り紙団体との共同展示「絵手紙&amp;折り紙&amp;絵本COLLABO展」において夏の絵本の展示を実施しました。展示期間中7月6日(土)に「絵本のよみきかせ会～七夕・夏によせて」を同館ギャラリーで実施しており、北部公民館を拠点に読み聞かせに関する活動をしています。ご指摘いただいている点で、今回団体が提出した申請書類の中で公民館学習室での相互学習等の記載がなく説明が不足しておりました。そのため、公民館での活動内容を追記した申請書類を再度、提出いたします。</p>
意見／ 安部委員長	<p>団体登録するには、活動目的に合致して、会員相互の親睦だけでは学びを深める学習をして、実践として、学童クラブでの読み聞かせをするという目的と実際が伴うなどが必要ではないでしょうか。</p> <p>確かに、公民館講座からたちあげた講座かもしれませんが、学習活動はしないのでしょうか？公民館登録団体として馴染まないような気がするのですが。</p> <p>今回の審議会での審議では、「継続審議」としたいです。委員とももう少し話合いたいと思えます。また、会と公民館長と話あいをして欲しいです。</p>	

令和6年調布市公民館運営審議会第4回定例会書面開催における質疑等について

	協議事項に対する意見等	事務局の回答
質疑／安部委員長	<p>前回、八田副委員長からか、地域連携ということで桐朋学園や白百合女子大などとの交流を深めるということで、話も出ていたと思いますが、提案が出ていなかったから案としてでていないということでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおりです。</p>
	<p>栗原委員からの提案ということで、とてもありがたいのですが、「地方創生」を調布市として検討しているのでしょうか？                      明治安田生命が公開講座で行っているようですが、内容についてもう少し情報が欲しい。地域連携や公民館の課題を企業としてどのように考えているのか、があまりよくわからないのですが。</p>	<p>ここでいう「地方創生」とは、明治安田生命保険相互会社がSDGsから導きだされる社会課題のうち優先課題として設定したものを指します。(追加資料裏面参照)この理念を受けて、「地元の元気プロジェクト」の一環として2021年度から全国公民館連合会とともに「MY定期講座」を無償提供しています。                      これらの事業の基本理念をどのように決定し、事業展開に至ったのか。さらには第3回定例会中における発言も含め、民間企業が地域連携に等しい事業を全国的な規模で展開している中で、地域連携や公民館の課題等を企業としてどうとらえているのかについて、お話いただくものです。</p>
質疑／安部委員長	<p>具体的な提案をだしていないものとして申し訳ないのですが、今回の台風被害や地震の被害をうけて、「自然災害の多発における公民館の役割」「地域連携をどのように図るか」など考える機会にしてはどうでしょうか？具体的に、活動事例などのテーマで調布市に身近な内容がよくて、公民館が避難場所としてどのような位置づけがあるのか、地域とどのような関わりがあるのか、等をおききしたいです。講師としては具体例はないのですが、防災課・まちづくり協会・地域包括支援センター・社会福祉協会などから連携事例をきいてもよいのでは？地域包括支援センターや自治会・まちづくり協議会、との地域連携も知りたいと思います。今回8月30日に避難指示が若葉町・入間町にでていますが、台風19号の時に、府中市では障害者や高齢者が避難場所がいっぱいで自宅に戻ったという事例が多発して、地域の会議で実態を把握して、障害者計画等も見直すなど行いました。調布市は、障害者や高齢者の避難について、スムーズに行えたのでしょうか？                      コミュニティ力が弱まっている中、災害弱者への視点をもって地域でどのようなことができるのか、公民館がその中でどのような役割を果たせるのか、各公民館長から話をしてもらってもよいのではないかと考えます。</p>	<p>災害時の公民館の役割としては、東部公民館を一例に上げますと「若葉小学校地区協議会」の一員として、避難所開設訓練をはじめ、毎年11月に実施する防災訓練の企画から運営まで役員として担っているほか、東部公民館を会場に防災講演会の共催実施をしています。                      このたびの台風10号への対応では、各公民館は、開設された避難所へ職員派遣を行っており、教育部や総合防災安全課と連携してあたっています。これは、2019年の台風19号の経験をもとにしたものであると理解しています。現在、派遣された職員のみならず、各職場単位で総合防災安全課において意見集約を行っているところです。                      今後も公民館においては、調布市や教育部の防災計画に基づき対応してまいります。</p>